

## ほほえみ 第115号



全国的に新型コロナ肺炎が下火になり、緊急事態宣言が解除になりました。一時期は急速な感染者、重症者の増加による医療供給体制の逼迫化などが取りざたされ、緊迫した状況でしたが、一段落してよかったと思います。しかし、海外では流行も大規模で、感染者数が急増している国もありますので、安心できるころまではいかないですね。まだまだ気を緩めず、当科の化学療法の体制も、発熱時には化学療法は休薬するという原則で対応することになります。この点に関しては、ご理解をいただければと存じます。

## 自宅での過ごし方

新型コロナ肺炎の最初の流行は下火になったようですが、今後も第二波の可能性も指摘されています。厚生労働省のホームページでは、新しい生活様式が提案されています。テレビ等での報道でもよく取りざたされているところですが、3つの密を避け、外食や会合、旅行を自粛するということは、必然的に自宅で過ごす時間が増えるということですね。

我が家では、新型コロナ肺炎の状況になって、テレビの録画用にブルーレイ・レコーダを買い換えましたが、さすがにテレビばかり見ているのも飽きそうなので、プチ・アウトドアができないか検討中です。といっても、バーベキューをしたりテントで寝たりはできないので、せいぜい、玄関先で燻製を作るとか、携帯用のバーナーでお湯を沸かして外でコーヒーを淹れてみるなどでしょうか。

いろいろ楽しいことを行うのを道楽と言いますが、食道楽とか釣り道楽とかいろいろありますね。本業がお留守で道楽が過ぎると道楽息子と呼ばれたりもします。この道楽という言葉は元々、仏教の言葉のようで、仏教では「どうらく」ではなく、「どうぎょう」と読むようです。この場合の意味は、道を楽しむではなくて、楽をねがうと訓読みするようです。すなわち、仏道を求めるということですが、さらに、突き詰めると、自分自身の本源、仏性を求めることのような感じです。

人間というのは、楽しいことを求めるときりがないものですが、正しく道楽をするならば、どこか自分らしさがあって、それは普遍的なものに根差すということを行っているのだらうと思います。

もしかすると、私が外で自分で沸かしたコーヒーを飲みたいのは、何か考える時間を求めているということ、心のどこかで感じているのかもしれませんが？



- 娯楽、スポーツ等
- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
  - 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
  - ジョギングは少人数で
  - すれ違うときは距離をとるマナー
  - 予約制を利用してゆったりと
  - 狭い部屋での長居は無用
  - 歌や応援は、十分な距離かオンライン

## デジタル・ペーパー

先月、万年筆の話題を載せましたが、同時期に導入したものがありません。ソニーのデジタル・ペーパーです。これは、タブレットのようなもので、基本的にはPDFファイルを読むためのものです。ペーパーという名に相応しく、質感が紙に似ているということと、鉛筆で書きこむように、自由に記入ができるところが優れています。

紙に印刷したものを持ち歩かなくて済むこともありますが、便利なのは書き込めることであり、長めの文章を書く時などに、事前に構成をメモ書きするときなど、パソコンと紙のちょうど良いとこどりになって生産性が上がるように思います。



ソニーのホームページから引用

## つるばらの開花

例年、この時期はバラの開花時期で、庭が最も華やかな季節です。普通は、品種や日当たりの差があって順次咲くのですが、今年に関しては、開花時期のばらつきが少なく、一斉に咲き揃いそうです。5月30日に、最初にラプソディ・イン・ブルーが咲きましたが、それから二日遅れで、ピエール・ド・ロンサール、カーディナル・リシュリュウが咲きました。一週間前後で満開になるかと思います。この季節は、強風や雨が降ったりしなくてほしいと思います。

同時に、アジサイの芽も伸びて蕾ができてきています。ヤマアジサイも三種類ぐらい植えています。最初に植え付けした藍姫は、だいぶ大きくなったので、今年あたりはたくさん咲いてくれるのはなにかと期待しています。



ローズ・ポンパドール

## MEMO

### 6月のがん化学療法科の予定

6月2日	診療応援(平出先生)
6月9日	診療応援(工藤先生)
6月16日	診療応援(平出先生)
6月20日	父の日
6月23日	診療応援(工藤先生)
6月30日	診療応援(平出先生)

